

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	001 秘書業務										
予算科目	01-020103-11						担当部課 係名	市長公室秘書課			
市長公約								秘書係・渉外係			
戦略プラン							新規・継続	継続			
							事業分類	自治事務（任意）			
							事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし						事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし						SDGs	16平和と公正をすべての人に			
								17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）の公務等を円滑かつ効率的に遂行する。
概要 （取組内容）	特別職が出席する会議や催事等日程について調整及び事前確認を行い、必要に応じて随行する。 全日程関連資料を特別職へ事前に共有する。 担当部署からの至急案件に関する報告書を管理する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	8,204	8,127	8,127	
	決算額	(千円)	7,571	6,668	5,595	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,571	6,168	5,595	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	500	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	25,644	27,101	18,586	18,596	18,596	
	内訳	正職員従事割合	(人)	3.00	3.50	2.50	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間)	1,802.00	1,365.00	646.00	650.00	650.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページでの情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		説明資料等の事前提出の徹底を周知することで、特別職の公務効率を高める。 併せて報告書等様式を改善し、担当課説明の簡素化などに繋げることで、特別職の過密スケジュールを緩和する。
成果		スピードを重視する案件は、担当部署より至急案件に関する報告書を提出してもらうことで優先度の明確化を図り、また、関連資料を特別職へ事前に共有することで、短時間での円滑な議論が行われるなど、効率的なスケジュール管理を行うことができた。
課題	業務	新型コロナウイルス感染症の状況のもとで、特別職への説明等は、オンラインが一般的となった。オンライン説明用のパソコン等機材が不足しており、同時時間帯の複数開催が困難で、調整に苦慮することがある。
	組織、予算等	担当課から至急の決裁依頼や報告調整は絶えず発生する。その都度、特別職の執務時間（決裁など）や休憩時間の確保、スケジュールの過密化に繋がっている。
改善目標		各課に余裕を持って決裁や案件報告をするよう再度周知し、スケジュールの過密化を防ぐ。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	002 市長車等特別職運転・管理業務									
予算科目	01-020103-11					担当部課 係名	市長公室秘書課			
市長公約							秘書係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	特別職（市長及び副市長）
目的	特別職（市長及び副市長）のスケジュールの履行と安全な最適移動を行う。
概要 （取組内容）	市長車及び副市長車の運転・管理業務を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	207	326	326	
	決算額	(千円)	0	205	196	0	0	
	内 訳	一般財源	(千円)	0	205	196	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,554	7,359	6,931	6,923	6,923	
	内 訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	200.00	234.00	53.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		渋滞の発生する時間帯や地域への移動は、前もって道路状況確認のうえ時間に余裕を持って移動することとした。
成果		特別職の公務スケジュール通りに、安全かつ迅速に移動することができた。
課題	業務	環境に配慮した水素自動車も公用車として配備しているが、燃料の水素を充填できる場所が1か所であり、また充填できる時間帯も限られていることから、水素自動車の使用は主に市内公務となっている。
	組織、予算等	公用車について、どの部品がいつ故障するか見通しが立たないため予算化ができず、大きな額の修理が発生した場合の対応が課題である。
改善目標		引き続き、渋滞の発生する遠方への移動は、道路状況を確認の上、時間に余裕を持って移動する。公用車の修理等については、必要に応じて公用車整備担当部署の協力のもと行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	003 渉外業務（後援名義使用承認・叙勲・表彰事務）											
予算科目	01-020103-11					担当部課 係名		市長公室秘書課				
市長公約	9							渉外係				
戦略プラン					新規・継続					継続		
										事業分類		
										事業体制		職員のみ
個別計画	特になし					事業期間		毎年度				
						SDGs		16平和と公正をすべての人に				
17パートナーシップで目標を達成しよう												
根拠法令等	日本国憲法、茨城県表彰規則、つくば市名誉市民条例、つくば市表彰規則											

事業の概要

対象	市民等
目的	後援による市民への信頼性の確保と公共の福祉の向上を図る。 叙勲・表彰は、地方自治の発展や文化の向上等に功績顕著な個人・団体を讃える。
概要 （取組内容）	後援名義については、申請に対し審査の上、市以外が主催する事業において「つくば市」の名義使用を承認する。 つくば市長賞については、申請に対し審査の上、賞状を交付する。 叙勲（叙位）については、地方自治に功労のあった公選職を対象に候補者を把握し、内申対象者が発生した場合は経歴・功績等を調査し、国・県に報告する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	157	270	270
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	14,387	10,709	11,043	11,011	11,011
	内 訳	正職員従事割合	(人)	2.00	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	110.00	217.00	343.00	330.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページでの情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	後援名義使用承認件数 ( 件 )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	222.0	66.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	後援名義の使用申請があったものについて、使用を承認した件数					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		後援については、申請事業が市の推進する事務、事業又は政策に沿ったものかどうか書面だけでは確認ができない場合、聞き取り調査を行い詳細を確認した。他団体の表彰では、各課からの推薦が無い場合、過去の受賞者の履歴を確認し、該当する課と推薦等の調整を行った。
成果		新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は後援名義の申請件数が減少したが、感染拡大防止のために「つくば市後援名義使用承認ガイドライン」を作成し、後援名義承認事業開催の際は、感染対策の徹底を求めることができた。
課題	業務	後援は、基準に基づき承認決定するが、営利目的に関する判断に苦慮している。 新型コロナウイルス感染症の状況は変化していくため、ガイドライン改訂の必要がある。
	組織、予算等	特になし
改善目標		後援は、審議に時間を要する案件を除き、引き続き申請受付後２週間以内に承認の可否を決定する。 表彰は、過去の受賞者を参考に、各課に推薦者を依頼する。 作成したガイドラインを新型コロナウイルス感染症の状況に合わせて改訂していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	－